

JTA 事前ルール確認試験 [第 1 版]

こちらの試験はレフリーを行う上で基本となる「ルール理解」を事前に確認するためのものです。競技規則を見ながら回答しても OK です。講習会までに必ず実施し、当日は忘れずにお持ちください。正解は講習会当日に発表します。

注意：この試験は ATA 競技規則第 7 版（FIT 競技規則第 3 版・JTA 邦訳版に準ずる）を基に作られています。回答に当たりパークコンペティションへの適用部分は無視して下さい。

1. 試合開始またはハーフタイム後、スコアされた後にゲームを再開する位置は？
 - A. ハーフウェイラインの中央
 - B. ハーフウェイラインから 10m 前方
 - C. ハーフウェイライン上のどこでも
 - D. ハーフウェイラインから 5m 前方

2. “ハーフ” の定義は？
 - A. 攻撃側チームのプレイヤー
 - B. ロールボールするプレイヤーの後方でボールを確保するプレイヤー
 - C. 攻撃側チームの交代（サブ）プレイヤー
 - D. サブボックスからポジションにつくため走っているプレイヤー

3. タッチのマーク（位置）とは？
 - A. ボールを保持している攻撃側のプレイヤーがタッチの成立時にいる場所
 - B. プレイヤーがタッチされた時にディフェンダー（防御側）がいる場所
 - C. タッチがあった時にレフリーがいる場所
 - D. タッチした瞬間にチームキャプテンがいる場所

4. 一般的な競技区域の大きさは？
 - A. 長方形でスコアラインからスコアラインまでの長さが 70m、幅が 50m
 - B. 長方形でスコアラインからスコアラインまでの長さが 100m、幅が 70m
 - C. 正方形でスコアラインからスコアラインまでの長さが 50m、幅が 50m
 - D. 正方形でスコアラインからスコアラインまでの長さが 70m、幅が 70m

5. 試合に先立ちレフリーは何を点検するか？
- A. シューズのみ
 - B. チームユニフォームの上着と背番号のみ
 - C. チームユニフォーム、シューズ、つめ、宝飾品は特に念入りに点検する。
 - D. スコアの注意点のみ
6. “タッチ”は誰によって成立するか？
- A. 防御側プレイヤーのみ
 - B. 攻撃側プレイヤーのみ
 - C. 防御側プレイヤー・攻撃側プレイヤーどちらも
 - D. レフリー
7. タッチチームは何人で構成されるか？
- A. 14人で、どんなときも競技区域にいることができるのは6人以内
 - B. 6人のみで、予備（交代）のプレイヤーはいない。
 - C. 合計16人でチームコーチの裁量で一度に何人でも競技区域にいることができる。
 - D. マネージャー・コーチ含めて合計15人
8. どのように試合を開始するか？
- A. コイントス（じゃんけん）に負けたチームが10mラインの中央からタップ
 - B. コイントスに勝ったチームがハーフウェーラインの中央からタップ
 - C. コイントスに勝ったチームがハーフウェイラインの中央からロールボール
 - D. コイントスに勝ったチームがハーフウェイラインの中央から10m先にキック
9. 他の競技規則が適用されない限り、ボールをもっているチームは何回タッチを行う権利を有するか？
- A. ボール保持権を交替するまでに6回
 - B. 最大5回
 - C. ボールが地面に落ちるまで何回でも
 - D. 最大7回

10. レフリーがボール保持権の交替と判定した時、攻撃側のプレイヤーが相手チームにボールを渡すのを故意に遅らせた場合の判定は？
- A. ハーフウェイラインの中央から違反を犯していないチームにペナルティタップの権利が与えられる。
 - B. ボール保持権が交替した場所から 10m前方で違反を犯していないチームにペナルティタップの権利が与えられる。
 - C. ハーフウェイラインの中央から違反を犯していないチームにロールボールが与えられる。
 - D. ボール保持権が交替した場所から 15m前方で違反を犯していないチームにペナルティタップの権利が与えられる。
11. プレイヤーが同じチームのオンサイドの位置にいるプレイヤーへ前方にボールを進めた場合の判定は？
- A. 前方にボールが進められた地点で、違反を犯していないチームにペナルティタップの権利が与えられる。
 - B. ボールが（地面に）着いた場所で、違反を犯していないチームにロールボールが与えられる。
 - C. 前方にボールが進められた地点か 10m前方で、違反を犯していないチームにペナルティタップの権利が与えられる。
 - D. スコアされるか（されないか）による。
12. ロールボールの方法として正しいのはどれか？
- A. 攻撃側プレイヤーがマークの位置で、相手（防御）側のスコアラインに向かい、サイドラインに平行に立ち、両足の間から 1m以内でボールを後方に転がす。
 - B. 攻撃側プレイヤーがマークの位置で、ボールを前方に足でける。
 - C. 攻撃側プレイヤーがマークから 5m前方の位置で、両足の間からハーフにボールを手渡す。
 - D. 攻撃側プレイヤーがマークの位置で、地面にボールを置き、どちらかの足でボールを軽くけり、拾い上げる。

13. プレイヤーが必要最小限の力以上でタッチを行った場合、レフリーとしてあなたが取るべき行動は？
- A. プレイヤーがさらに同じ行動を繰り返さないように注意し、プレイは継続する。
 - B. 違反を犯していないチームにペナルティタッチの権利を与え、違反を犯したプレイヤーには少なくとも警告を与える。
 - C. タッチされた場所から 5m前方で違反を犯していないチームにロールボールを与える。
 - D. 何も言わず継続し、再び起こらないように願う。
14. まれなケースとして、(ハーフではない) プレイヤーがスコアライン上またはスコアラインを超えてボールを地面に置いたと同時にタッチが成立した時の判定は？
- A. タッチダウン (スコア) を与える。
 - B. タッチがカウントされ、タッチダウン (スコア) は与えられない。
 - C. 攻撃側チームに得点の半分が与えられる。
 - D. 攻撃側チームにスキル不足として罰する。
15. ボールを持ったプレイヤーがタッチされる前にサイドライン上に触れた場合の判定は？
- A. ボール保持権が交替し、ボールを持っていたプレイヤーがサイドラインに触れた場所から 5m内側の場所で相手チームのロールボールにより再開される。
 - B. 攻撃側チームがボールは保持したまま、5m内側の場所からロールボールにより再開される。
 - C. サイドライン上は競技区域内とみなされ、プレイは継続される。
 - D. 攻撃側チームがボールは保持したまま、5m内側の場所からタッチにより再開される。
16. 防御側プレイヤーがボールを取ろうとしてボールに接触し、ボールが地面に落ちた場合の判定は？
- A. 相手チームのパスミス (パスが悪かったと判定) により防御側チームにボール保持権が替わる。
 - B. 攻撃側チームがボール保持権を維持し、タッチカウントは継続される
 - C. 攻撃側チームがボール保持権を維持し、タッチカウントは数え直しとなる。
 - D. 防御側チームにボール保持権が替わり、パスミス (パスが悪かったと判定) により

タッチが余分に与えられる。

17. 通常、オフサイドの攻撃側プレイヤーに反則を与えるのはいつ？
- A. プレイを妨げているとき
 - B. (オフサイドなら) いつでも
 - C. ロールボールのときのみ
 - D. 3回目にオフサイドになったときのみ
18. 攻撃側チームが(攻撃側)スコアラインから5m以内でロールボールがあった際に防御側チームがオンサイドになるために必ずすべきことは？
- A. スコアラインの後方に片足のみ置く。
 - B. スコアラインの後方に両足を置く。
 - C. 両足をスコアライン上または後方に置く。
 - D. 5mゾーンでのプレイにオフサイドは存在しない。
19. 攻撃側のプレイヤーが防御側のプレイヤーのタッチを避けようとしてレフリーの後方に故意に移動した。あなたの判定は？
- A. いつでも“プレイオン”
 - B. タッチをコールし、攻撃側にボール保持権は維持されたまま、レフリーが立っている場所からロールボールで再開される。
 - C. 違反が犯された地点のマークで、防御側チームに攻撃権が変わりペナルティタップの権利が与えられる
 - D. ロールボールをさせ、タッチカウントは変わらない。

(ヒント：攻撃側チームのオブストラクションとは、防御側プレイヤーにタッチを行わせないようにして不当なアドバンテージを得ようとする、攻撃側プレイヤーによって行われる意図的な試みであると定義されています。)

20. ペナルティタップの際に防御側チームのプレイヤーがオンサイドになるのはいつか？
- A. マーク（タップの位置）から少なくとも 5m 後退し、レフリーの指示があるまで留まっている。
 - B. タップのマークから 10m 以上後退し、ボールが足でタップされるまたは後方へ転がされる時のみ前進できる。
 - C. 少なくとも 15m 後退する。
 - D. スコアラインまで後退する。
21. 違反が犯された場所からプレイヤーが 5m 前方でボールをタップした。あなたの判定は？
- A. 攻撃権が変わり、攻撃側チームに対してペナルティタップの権利を与える。
 - B. “プレイオン” をコールしてプレイは継続される。
 - C. マーク（タップ）の位置でボール保持権の交替
 - D. 攻撃権が変わり、攻撃側チームに対して最初のマークから 15m 前方でペナルティタップの権利を与える。
22. 攻撃側のプレイヤーが故意に前方にパスをしたが、防御側プレイヤーがそのパスをインターセプトしようとしてキャッチミス、ボールは地面に落ちた。あなたの判定は？
- A. ボール保持権の交替
 - B. 防御側チームの攻撃としてフォワードパスによる明らかなアドバンテージがない場合、攻撃権が変わり、攻撃側チームに対してペナルティタップの権利を与える。
 - C. “バックトゥウン” を示し、攻撃側チームにボールが戻されタッチカウントも数え直しで再開
 - D. 攻撃側チームの攻撃としてボールを落としたことによる明らかなアドバンテージがない場合、攻撃権が変わり、防御側チームに対してペナルティタップの権利を与える。
23. 最小限の力以上のタッチ（ハードタッチ）で一時的に退場させられたプレイヤーが攻撃に参加することを許された後に再び同じプレイヤーが違反を繰り返した。あなたの判定は？
- A. 試合が終わるまで、競技区域から違反を犯したプレイヤーを退場させる。
 - B. プレイは継続され、違反を犯したプレイヤーに注意のみする。
 - C. 違反を犯したプレイヤーに 10 ドルの罰金が課される。

D. シンビン（一時退場）を与え 20 分間プレイヤーを退場させる。

24. 一時的な退場（シンビン）を受けたプレイヤーはどこに移動させるべきか？

- A. （自チームが）防御する側のスコアラインの後ろから 5m以上離れて、中ほどの位置にいないといけない。
- B. （自チームが）攻撃する側のスコアラインの後ろから 10m以上離れて、中ほどの位置にいないといけない。
- C. （自チームが）攻撃する側のスコアラインの後ろから 5m以上離れて、中ほどの位置にいないといけない。
- D. 違反が起きた近くのスコアラインの後ろから 10m以上離れて、中ほどの位置にいないといけない。

25. レフリーの管理下に置かれる範囲は？

- A. 競技区域内にいるプレイヤーと交代（サブ）プレイヤーのみ
- B. プレイヤー、コーチ、両チームの役員、競技区域の境界から交代プレイヤー及び試合に関わる役員まで含まれる。
- C. 競技区域内にいるプレイヤーのみ
- D. 誰も管理下に置けない。

お疲れ様でした。

以上は AUS レベル 1 認定試験を邦訳（一部 JTA にて変更）したものです。AUS では 25 問中 22 問以上の正解でレベル 1 認定となります。

レフリーとして最低限頭に入れておくべきルールですので、わからなかった点は競技規則をしっかりと読んで確認しておきましょう！！！！